



ほほえみ

2023年
(令和5年)
1月20日

第141号

発行 社会福祉法人 豊丘村社会福祉協議会 〒399-3202 豊丘村大字神籠3039番地1 ☎ 0265-35-1122 印刷 龍共印刷株式会社



依然としてこのコロナの終息に向けての先が見えない中、このような時こそ感染予防・拡大防止に配慮をしつつ、可能な限り地域事業を維持して、より充実した福祉サービスの提供ができますよう、職員一丸となり取り組んでまいります。

村民の皆様には引き続きご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとりまして良い年となりますようお祈り申し上げます。

新年あけましておめでとうございます。旧年中は当社協の活動につきまして、多くの方々よりご理解と温かいご支援を賜り、心よりお礼申し上げます。



ホームページアドレス <http://toyo-sha.jp/>

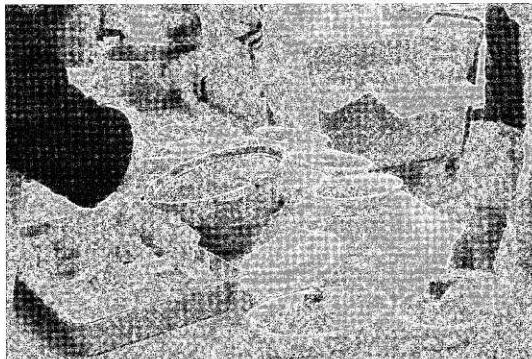
社協報「ほほえみ」の発行には赤い羽根共同募金の配分金が使われています。



沢山のじゃが芋を寄付していただきました



約200食分のカレーです！



カレーにフライドポテトを添えて完成です

10月30日、ゆめあるてで『みんなのカレー』を開催しました。ボランティアさんと社協が協働して初めて行つたもので地域の方同士が手作りカレーと一緒に食べつながりの場としていたくことを目的に実施しました。当初は会場での会食予定でしたが、新型コロナ感染拡大防止のためティケアウト方式での開催となりました。

当日は「柿外土手作りサロン」の皆さんをはじめ、計14名のボランティアさんがカレーの調理から配布までを行いました。配布予定の11時前には小さいお子さんから10月30日、ゆめあるてで『みんなのカレー』を開催しました。ボランティアさんと社協が協働して初めて行つたもので地域の方同士が手作りカレーと一緒に食べつながりの場としていたくことを目的に実施しました。当初は会場での会食予定でしたが、新型コロナ感染拡大防止のためティケアウト方式での開催となりました。当日は「柿外土手作りサロン」の皆さんをはじめ、計14名のボランティアさんがカレーの調理から配布までを行いました。配布予定の11時前には小さいお子さんから

盛だつたけれど、子どもも残さず食べました』など、うれしい感想をいただきました。

当日活動したボランティアさんその他、お米や野菜を寄付してくださいった方、飲料水を寄付してくれださったNPOホットライ

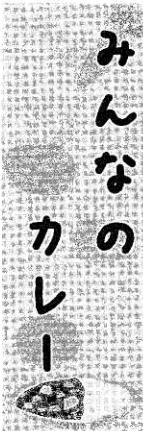
ン信州など、様々な方の地域へ

の思いが、「みんなのカレー」という形になりました。

この事業は、赤い羽根共同募金の助成金が活用されています。長引くコロナ禍により、気楽に集うことが難しい状況が続きますが、共同募金のテーマである『つながりをたすく』

の会食予定でしたが、新型コロナ感染拡大防止のためティケアウト方式での開催となりました。

当日は「柿外土手作りサロン」の皆さんをはじめ、計14名のボランティアさんがカレーの調理から配布までを行いました。配布予定の11時前には小さいお子さんから



会づくりあなたはひとりじゃない」とのように、地域の方と協働してつながりの場づくりを、今後も続けていきたいと思います。



大勢の方にカレーをお渡しできました (2)

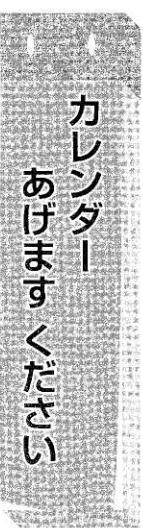


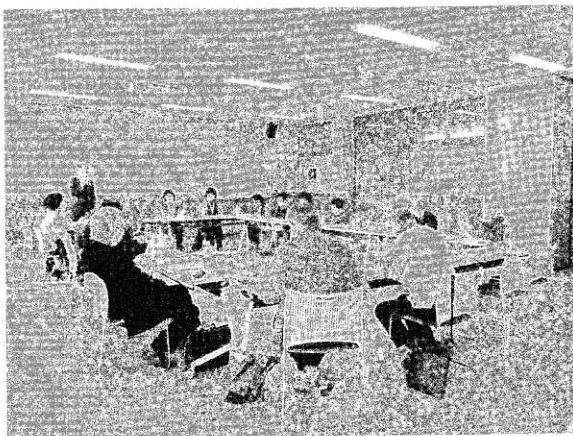
いろいろな種類のカレンダーがあります！

12月に募集しました『カレンダーあげますください』では、皆様のご協力いただき、沢山のカレンダーが集まりました。今年は「介護予防拠点施設はつらつ」で開催しており、大勢の方にお届けできています。

大変ありがとうございます。

1月末まで開催予定ですので、ご入用の方はぜひお気軽にお越しください。





12月1日、ミニデイサービスの情報交換会・サロン情報を交換会を実施しました。

ミニデイの情報交換会では、新型コロナの感染状況により中止が続いたことで、「集いの場がなくなってしまった」という声が多く聞かれました。サロンの情報交換会では「開催の判断が難しい」という声もありましたが、感染対策を講じて集まつたり、集まるのが心配な時には、手

どちらも高齢者の方にとっての大切な居場所ですが、開催の判断が実施主体によって異なるため、コロナ禍における実施率は大きく異なります。ミニデイは、県内の感染状況を考慮しながら社協内で検討し、中止せざるを得ない月が多いのが現状でした。

月に一回以上地域の高齢者の方が集まっている会や、「これから地域で集まりたいな」と考えている方、また、地域の高齢者のつながりの場にご興味のある方は、運営方法等社協までお問い合わせください。

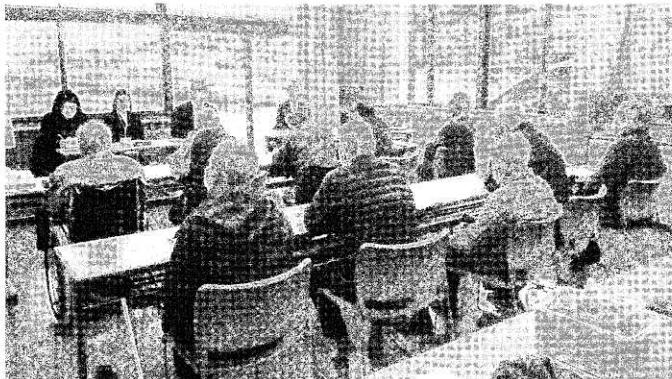
12月1日、ミニデイサービスの情報交換会・サロン情報を交換会を実施しました。

ミニデイの情報交換会では、新型コロナの感染状況により中止が続いたことで、「集いの場がなくなってしまった」という声が多く聞かれました。サロンの情報交換会では「開催の判断が難しい」という声もありましたが、感染対策を講じて集まつたり、集まるのが心配な時には、手

紙や軽食をスタッフが配達する、という方法で開催したサロンもあつたようです。

「地域の集いの場」について検討しました

	ふれあい地域サロン	地域ミニデイサービス
目的	高齢者の社会的孤独感の解消や自立生活の支援など、介護予防の推進を図る	運動機能や認知機能の維持向上メニュー及び気楽な茶話会や昼食会等を通じて触れ合うことにより、健康維持と介護予防を図る
実施主体	区、自治会、地域ボランティア、NPO、村が認めたグループ	豊丘村社会福祉協議会（村委託事業）
利用対象者	概ね65歳以上の高齢者	概ね65歳以上の高齢者
実施方法	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回以上定期的に開催 ・1回につき7人以上の参加 ・実施団体及び利用者が主体的に運営していくことを基本として、利用者の興味関心に沿った内容を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回、2時間程度 ・1回につき、概ね7人以上 ・年間計画に沿って実施（講師の派遣は社協で行う）
費用 (補助)	<ul style="list-style-type: none"> ・1回開催につき5,000円と、参加者1人につき500円補助 例) 参加者12名の場合 $5,000円 + (12名 \times 500円) = 11,000円$ 	<ul style="list-style-type: none"> ・社協おいでなんしょ会 ・高齢者昼食高齢会 (上記2つを利用し運営するが、開催に対する費用補助はない) *講師費用は社協で負担



豊丘村身体障がい者福祉協会では、12月5日に介護予防拠点施設はつらつで、17名の参加により「村長さんとしゃべらまい会」を開催しました。

身障協は毎年この会を実施しており、役場から下平村長、担当課長・係長の出席を頂き、村政を中心テーマについて懇談を行いました。

身障協「村長さんとしゃべらまい会」の開催



12月25日、介護予防拠点施設「はつらつ」の玄関へ、林里高齢者クラブ「寿会」の皆様により、正月用の門松が飾られました。寒い中、また年末のお忙しい中、今年も大変立派に飾りつけただき、大変ありがとうございます。



毎年、豊丘村赤十字奉仕団の方々が歳末訪問をしてくださいます。この歳末訪問は、平成12年より継続しており寄附金と新品のタオルをいただいております。23年もの長い間、豊丘村の福祉に关心を寄せていただき本当にありがとうございます。

林里高齢者クラブ 正月飾り作成

赤十字奉仕団 歳末訪問

おむつ代補助申請はお済みですか

豊丘村では下記の方を対象に「おむつ」の補助を行っています。申請がお済みでない方は、お早めに手続きをお願いします。

- (対象者)**
1. 介護保険の要介護認定者で、在宅において介護をうけている方
(入院、施設入所期間は除外されます)
 2. 総合支援事業対象の方

(対象期間) 令和4年1月1日～12月31日の購入分

(提出期限) 令和5年2月3日(金)

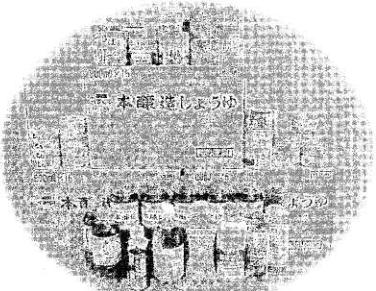
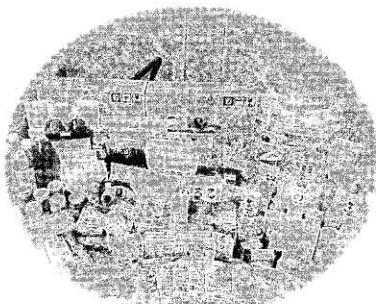
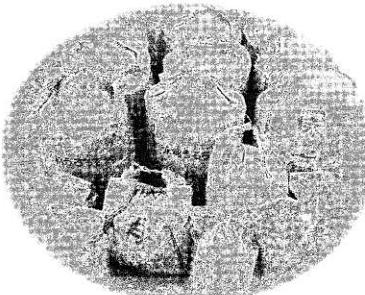
(提出場所・お問い合わせ) 豊丘村社会福祉協議会 (電話:35-1122)

令和4年度 第3回フードドライブのお礼

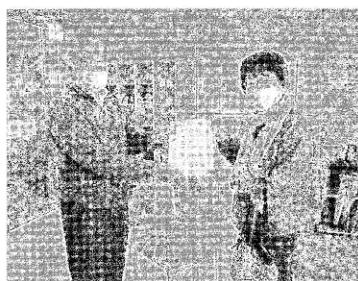
12月5日～12月16日の間、今年度3回目のフードドライブを行ったところ、皆様からたくさんの温かい寄付をいただきました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

◎いただいた食糧（募集期間12月5日～12月16日）

- ・お米（白米・玄米・もみ米） 288kg
- ・缶詰（シーチキン・鯖缶など） 36個
- ・レトルト食品（カレー・佃煮） 3個
- ・インスタント食品（カップ麺・ラーメンなど） 65個
- ・お菓子（せんべい・飴など） 52個
- ・飲み物（お茶・くず湯など） 40個
- ・調味料（砂糖・しょうゆ・カレールウなど） 62個
- ・乾物（焼きのりなど） 23個

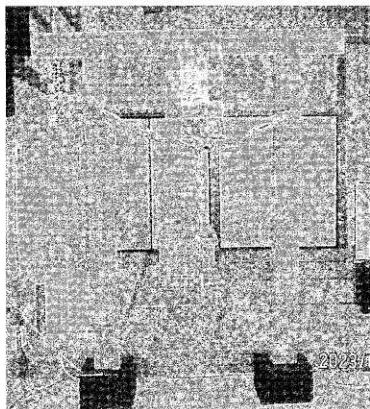
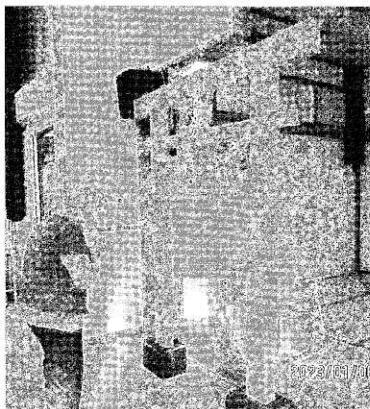


「東洋羽毛北信越販売(株)
長野営業所」の皆様より



「JA女性部豊丘支部」の
皆様より

皆様からご寄付いただきました食糧は、村内の福祉事業所や必要とされるご家庭にお渡ししています。



令和5年の始まりは、職員力作
の神社の鳥居です。
御利益があるといいですね。



す。皆さんの要望をお聞きしながら、今後もりフレッシュできる場所提供していきたいと思いま

事業として昨年に引き続き飯田市ボタニカルフラワースクールの多田先生を講師にお招きし、「テラリウム」づくりを行いました。

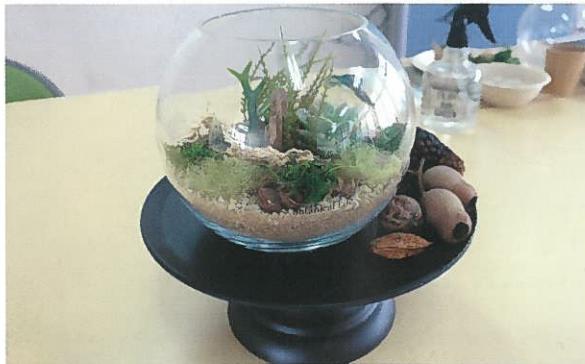
この事業は、ご自宅で介護されている方を対象に、息抜きや気分転換、また、同じ介護者同士の交流の場として実施しております。

今回は、男性2名、女性10名の参加があり、それぞれ思い思いの作品を楽しみながら作ることができました。

テラリウムとは、透明なガラス容器の中で動植物を育てて楽しむもので、作成する工程から、作成した後も気持ちが癒されるインテリアです。テラリウムづくりを通して、介護者の方が少しでもリフレッシュする時間を持つていただければ嬉しいです。

事業として昨年に引き続き飯田市ボタニカルフラワースクールの多田先生を講師にお招きし、「テラリウム」づくりを行いました。

この事業は、ご自宅で介護されている方を対象に、息抜きや気分転換、また、同じ介護者同士の交流の場として実施しております。



今年3回目となる「おとしとりランチ」を年末の12月29日に実施いたしました。

この事業は、75歳以上のおひとり暮らしの方に、おとしとりのお弁当をお届けし、地域とのつながりを感じていただきたい、温かい気持ちで新年を迎えていただきたいという思いから始まりました。

かあちゃんの店手作りの心のこもったおとしとり弁当と、中学生からの温かいメッセージを添えて、希望された78名の方にお配りさせていただきました。配達には、民生児童委員の皆さんとボランティアさんにご協力いただきました。

玄関先、また家の外まで出て心待ちにされていた方もいらっしゃいました。

「豪華なお弁当でおいしかつたです。ありがとうございました。」「中学生のメッセージに心がほっこりとしました。」とお弁当を受け取られた方からお礼のお言葉をいただきました。

この事業は、住民の皆様からいただいた赤い羽根共同募金事業の助成金を活用して実施させていただいておりま

す。皆様の温かいお気持ちのこもった募金で今年度もこのような事業が実施できましたことに感謝申し上げます。

